



# 床の下の秘密の世界

**CONCEPT**  
 子供のころはみんな、誰の目にもつけないようなカムフラージュされた「秘密の遊び場」に心を踊らせていたはずだ。隠し扉や屋根裏の空間、押し入れ、ダンボールハウス etc. ....  
 子供だけが使える秘密の場所を日常的な住宅に忍ばせたい。大人が入れない地下の空間には、大きな宇宙が広がっている。

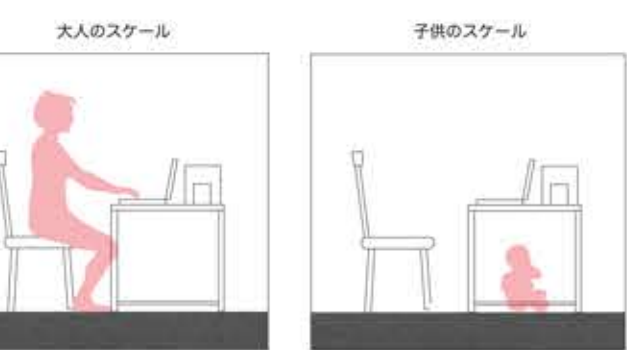
### 既存の家具に +α の機能を付加する

私たちが日常的に使用している家具には、本来持つ機能とは別に生活していく上で、潜在的に使っている機能がある。  
 例えば、震災の時、生活者は机の下に潜る。机はシェルターの役割を果たし、身体を守る。このように普段使われている家具の機能に対して別の視点からの可能性を見つけ、+αの機能を付加することによって、空間と家具の関係性を見つめ直す。



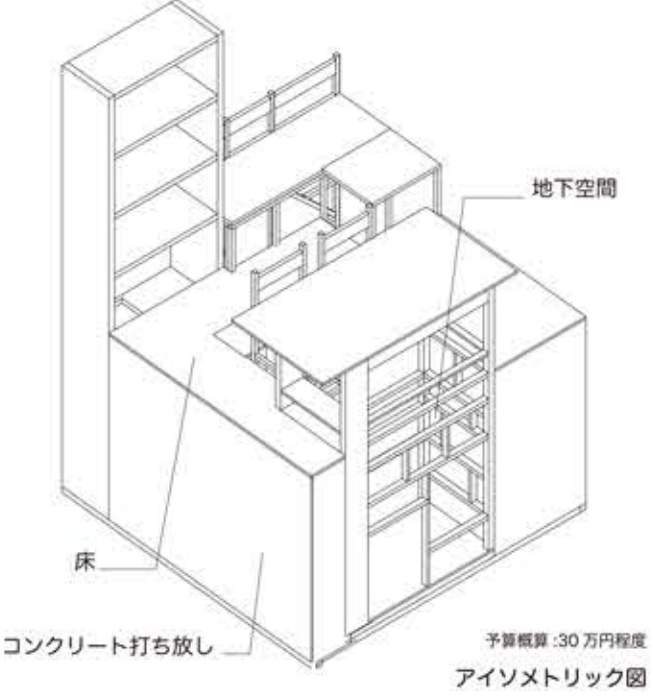
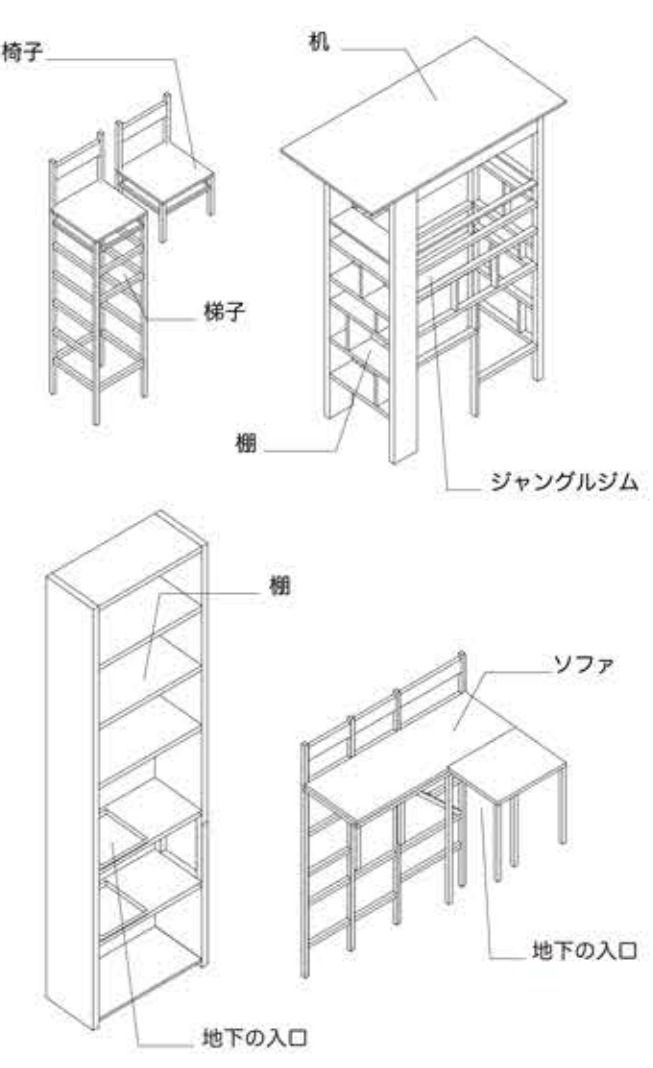
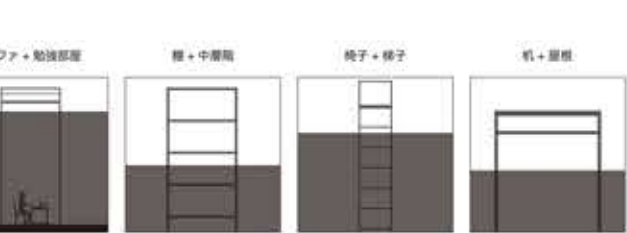
### 「大人のスケール」と「子供のスケール」

子供の見える世界と大人の見える世界は大きく異なる。大人にはわからない子供だけが持つスケール感覚と視点を利用して空間を作り出していく。日常生活空間には、大人の視点から外れた子供だけが知る秘密の世界が広がっている。



### 地下へ家具を伸ばすと.....

生活者が日常的に使用する家具を4つあげる。今回はリビングでの空間を想定し、机と椅子、ソファと棚とする。それらに対して、「伸ばす」という工程を加えることによって、家具が本来持つ機能に+αの機能を与える。例えば、椅子は、「座る」という本来の行為に加えて、「降りる」という行為が加わることによって、地下空間への動線とつながる家具へと変化する。  
 地下空間は、家具を下に伸ばした奇蹟だけ地下空間を挟み取り、ソファと棚の隣接しあう地下空間は、地上では分かれているように見えて、地下ではつながっている。

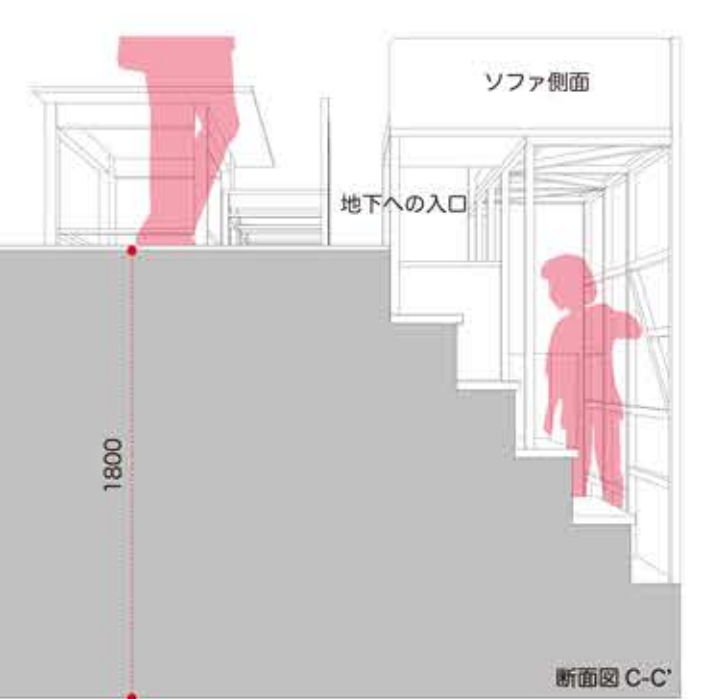
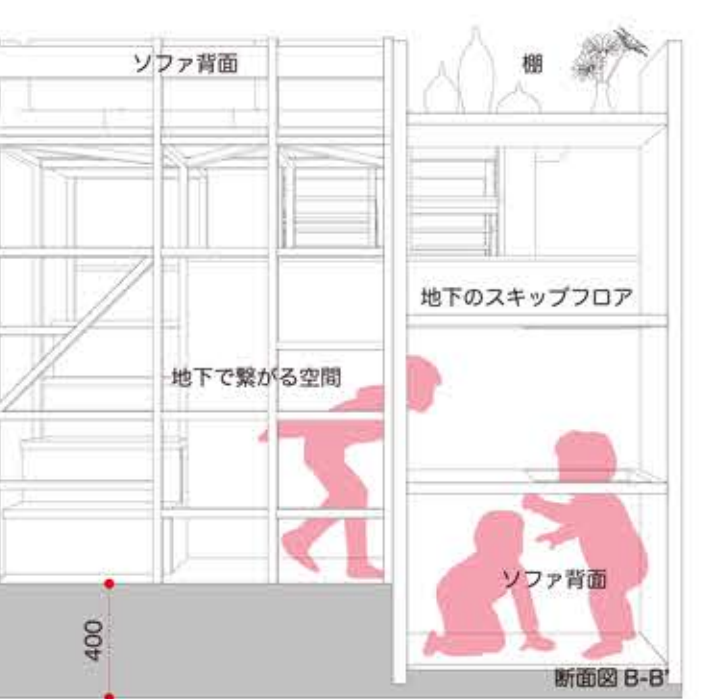
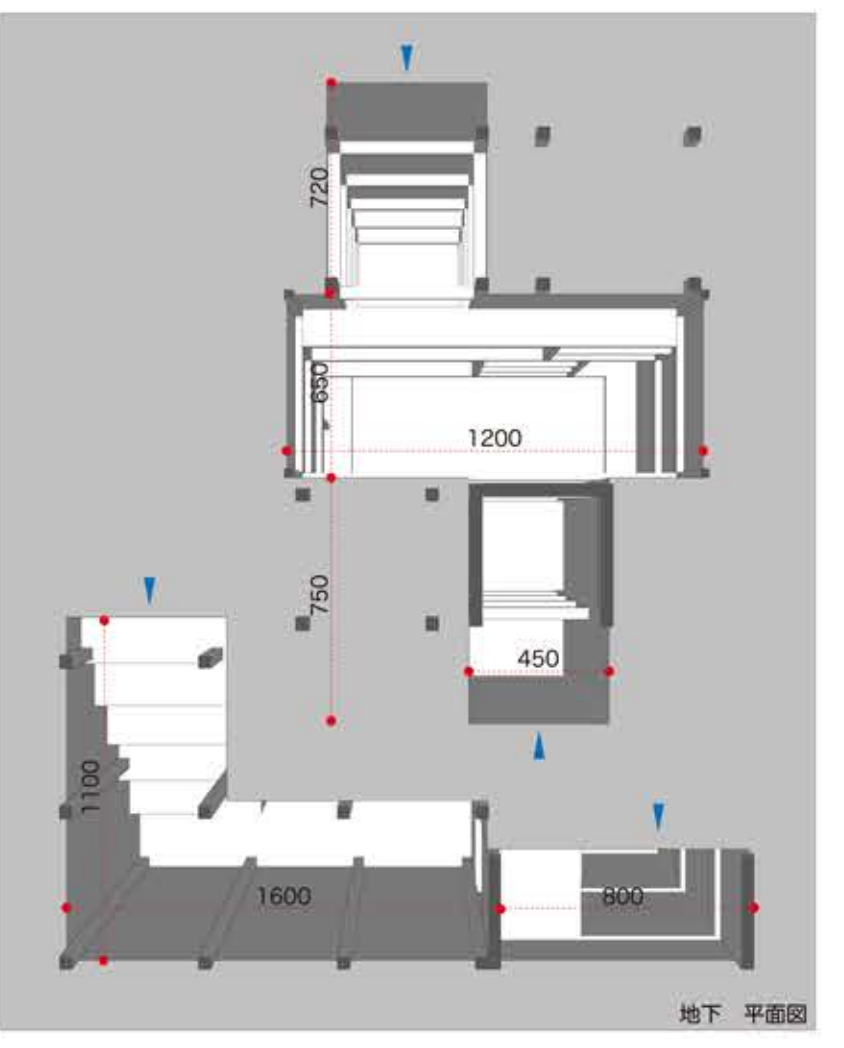
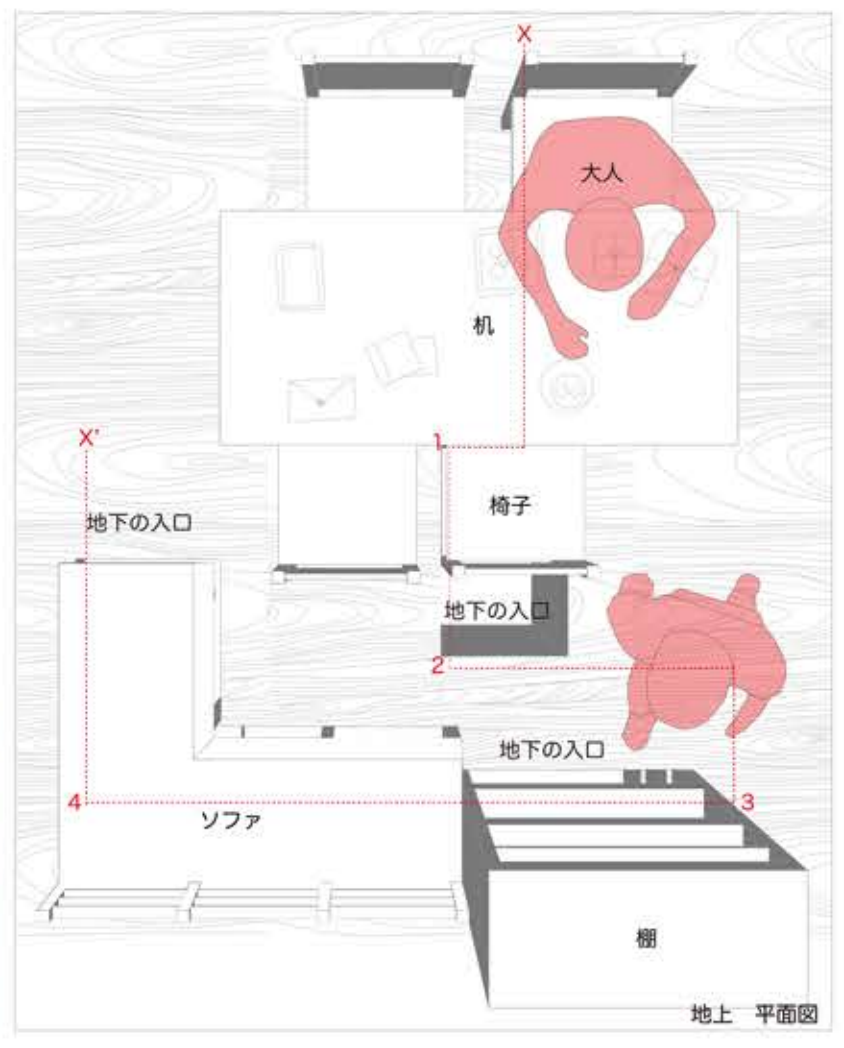


### クライアント

クライアントは、都内の良い整地に一軒家を購入予定の幼稚園の低学年の子供2人を持つ夫婦である。夫婦の要望として、敷地の近くでは、子供が遊べる公園がないので、購入する家の中に子供が遊べるような機能が欲しいとのことである。またその機能は、幼稚園の友達も呼んで遊べるようなアトラクションを持つ空間が欲しいとのことである。

### インテリアエレメント【ミラクル杉】

ミラクル杉は、宮崎県産の杉材を使用し、従来の国産材では不可能だったハーフト同様の剛直性、レッドウッドやレッドシダー並みの加工性の良さと低価格、さらに環境にも配慮し、安全で無害、そして子供の肌に優しい木材である。



sequence